

2019年6月17日

株主・投資家の皆様へ

株式会社共立メンテナンス

当社第40回定時株主総会の議案に関する補足説明について

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc. (以下「ISS」といいます)が、2019年6月26日に開催を予定しております当社第40回定時株主総会の第2号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。)13名の選任の件」について、候補者13名のうち候補者番号1番の石塚晴久氏および候補者番号2番の上田卓味氏に反対推奨を行い、また、第3号議案「監査等委員である取締役3名選任の件」について、候補者3名のうち候補者番号2番の宮城利章氏および候補者番号3番の川島時夫氏に反対推奨を行っているとの情報を入手いたしました。

つきましては、当該議案に関しまして下記のとおり補足説明させていただきます。

株主・投資家の皆様におかれましては、補足説明の内容をご確認いただき、第2号議案および第3号議案について、ご理解を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

1. ISSの第2号議案および第3号議案に対する反対推奨の内容について

ISSは監査等委員会設置会社において、社外取締役の割合が1/3に達していない場合、経営トップの選任議案に反対するとしており、第2号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。)13名の選任の件」について、会長である石塚晴久氏および社長である上田卓味氏に反対推奨をしている模様です。

また、第3号議案「監査等委員である取締役3名選任の件」では、宮城利章氏は、当社の主幹事証券であるSMB C日興証券株式会社の業務執行者であったことがあるため、同氏に独立性が不足しているとして、川島時夫氏は、当社の借入先であり、当社の株主でもある株式会社三菱UFJ銀行の業務執行者であったことがあるため、同氏に独立性が不足しているとして、反対推奨されている模様です。

2. 当社の考え方及び補足説明

- ① 第2号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。)13名選任の件」候補者番号1番(石塚晴久氏)、候補者番号2番(上田卓味氏)に関する当社の考え方及び補足説明

当社は、取締役会のガバナンス強化のため、本総会第2号議案において、社外取締役として久保氏の選任(独立役員として東京証券取引所に届出予定)をお願いしており、第3号議案における宮城利章氏および川島時夫氏の選任とあわせ、当社の考える独立性を備えた社外取締役3名の体制とさせていただきたいと考えております。

また、第2号議案では、取締役会の多様性確保のため、当社初の女性取締役である百瀬氏の選任もお願いしております。

当社としては、社外取締役候補者は、まず員数ありきではなく、高い見識があり、企業統治の実効性を担える人物本位としており、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与できる人物を見極めて候補者として推薦しております。それにより、実質的なガバナンスが図られる取締役会の構成とさせていただいております。

加えて、石塚晴久氏、上田卓味氏の選任理由を以下に補足いたします。

石塚晴久氏につきましては、創業者として 39 年にわたり当社の経営を指揮し、同氏の先見性に富む事業における幅広い知見、リーダーシップにより、当社の現在における事業基盤および企業文化が構築されてきました。第 40 期においても、「至誠」のテーマのもと全グループ会社の機動的柱として、当社事業の拡大に寄与されており、今後の当社のさらなる成長のために欠かすことはできないと考えております。

上田卓味氏につきましては、当社取締役として 19 年にわたり経営に携わり、2017 年 4 月より当社代表取締役として経営の指揮を執っております。同氏は、お客様のご満足を第一とする企業文化の確立と、強固な事業基盤を早期に構築するための先行的開発を軸とする中期経営計画「kyoritsu Jump Up Plan」について、強力なリーダーシップを発揮し、当初計画を上回るペースで進捗させており、当計画達成には同氏は欠かすことはできないと考えております。また、当社は、本総会第 2 号議案にて社外取締役の 1 名増員、また当社初の女性取締役の選任をお願いしておりますが、同氏は、当議案を取締役に推薦し、当社取締役会のガバナンス強化、多様性の確保にも積極的に取り組んでおります。今後の当社にとって同氏の事業経験、知見、ならびにリーダーシップが必要であると判断しております。

② 第 3 号議案「監査等委員である取締役 3 名選任の件」候補者番号 2 番（宮城利章氏）、候補者番号 3 番（川島時夫氏）に関する当社の考え方及び補足説明

宮城利章氏につきましては、2004 年 3 月まで S M B C 日興証券株式会社の業務執行者でありましたが、退職から 15 年経過しております。当社は同社のみならず他の証券会社とも取引を行っており、同社は当社の特定関係事業者ではありません。なお、同氏は東京証券取引所が定める独立役員としての届出基準を満たしていることから、その旨届け出ております。

加えて、当事業年度開催の月例定時取締役会のすべてに出席しており、証券業界で長年にわたり実務および経営に携わり、経営に関する豊富な経験と幅広い見識を有しておられることから、引き続き社外取締役として、経営の監督や企業戦略の決定に適切な役割を遂行していただけるものと判断しました。

川島時夫氏につきましては、2011 年 3 月まで株式会社三菱 U F J 銀行の業務執行者でありましたが、退職から 8 年経過しております。当社は同銀行の他多数の金融機関と取引を行っており、同銀行は当社の特定関係事業者ではありません。なお、同氏は東京証券取引所が定める上記届出基準を満たしていることから、独立役員として届け出る予定です。

加えて、金融機関での長年の勤務経験があり、財務および会計に関する相当程度の知見を有しておられることから、新たに社外取締役として、経営の監督や企業戦略の決定に適切な役割を遂行していただけるものと判断しました。

(ご参考) 当社 ROE (自己資本当期純利益率) の推移

	36 期	37 期	38 期	39 期	40 期
ROE (%)	10.8	11.4	11.7	12.9	12.6

以上